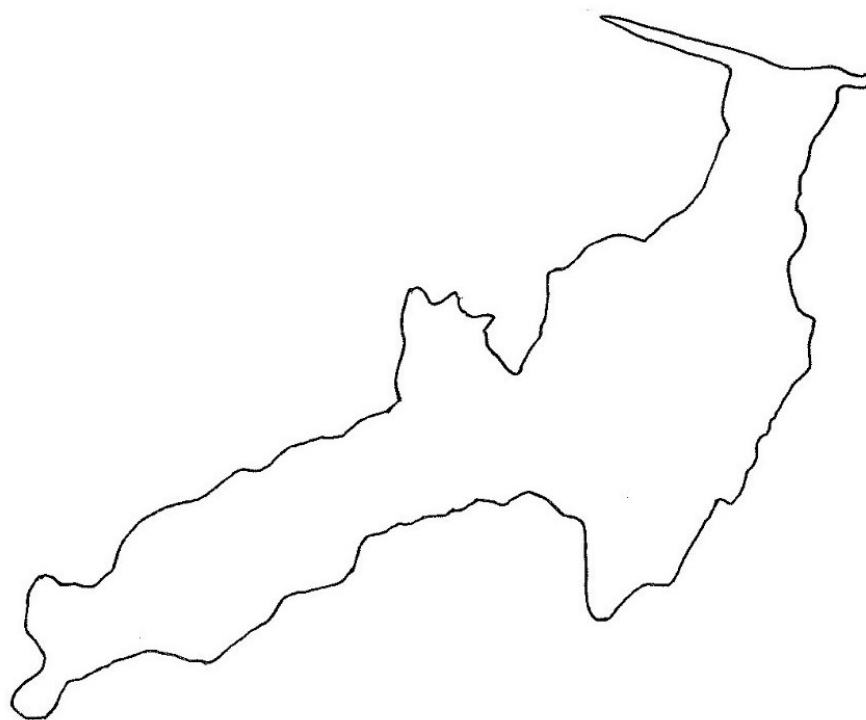


北見市学校教育推進計画

令和3年度～令和7年度

(2021年度～2025年度)



令和2年10月

北見市教育委員会

《 目 次 》

1	はじめに	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
2	計画の期間と構成	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
3	北見市教育目標	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
4	基本理念	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
5	基本方針	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
6	全体構造図	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3
7	重点目標及び観点別の実践内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 4
	重点目標 1	信頼に応える学校づくりの推進	・・・・・・・・ P 4
	観点 1	地域とともにある学校づくり	…実践内容 1～7
	観点 2	資質・能力の向上を目指す研修活動	…実践内容 1～6
	観点 3	へき地・複式教育	…実践内容 1～3
	重点目標 2	確かな学力を育成する教育の推進	・・・・・・・・ P 5
	観点 4	確かな学力を育てる学習指導	…実践内容 1～7
	観点 5	探究的な学習を充実する総合的な学習の時間	…実践内容 1～4
	観点 6	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育	…実践内容 1～5
	重点目標 3	豊かな心を育成する教育の推進	・・・・・・・・ P 6
	観点 7	豊かな心を育てる道徳教育	…実践内容 1～4
	観点 8	自主的・実践的な態度を育てる特別活動	…実践内容 1～6
	観点 9	自己指導能力を育てる生徒指導	…実践内容 1～7
	観点 10	豊かな感性を育てる読書活動	…実践内容 1～3
	重点目標 4	健やかな体を育成する教育の推進	・・・・・・・・ P 7
	観点 11	健全な心身の保持増進を目指す健康教育	…実践内容 1～7
	観点 12	健全な食生活を目指す食育	…実践内容 1～4
	観点 13	自ら命を守る安全教育	…実践内容 1～5
	重点目標 5	社会の変化に対応した教育の推進	・・・・・・・・ P 8
	観点 14	国際理解教育	…実践内容 1～4
	観点 15	情報教育	…実践内容 1～4
	観点 16	キャリア教育	…実践内容 1～4
	観点 17	環境教育	…実践内容 1～3
	観点 18	ふるさと教育	…実践内容 1～2
*	用語解説	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 9

北見市学校教育推進計画

1 はじめに

北見市の学校教育推進計画は、昭和33年、学校教育指導計画として作成されて以来、学校教育指導方針と名称を変えるとともに、その時代の課題などを踏まえ、部分修正を行いながら内容の充実を図ってまいりました。

昨今は、IoT(*1)や人工知能の技術革新、グローバル化の進展などにより、子どもたちを取り巻く環境は、急速に変化しています。さらに「人口減少」、「人生100年時代」の到来やSociety 5.0(*2)の実現を見据え、予測できない変化に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮し、より良い社会の創り手となる力を身に付けることが求められています。

このような中、平成29年3月には学習指導要領が改訂され、平成30年3月には北海道教育推進計画が新しい教育への指針として策定されました。

この度の北見市学校教育推進計画は、その後の教育に対する社会の要請や新たな課題、平成30年度から令和4年度までの5か年にわたる北海道教育推進計画などを踏まえながら、令和3年度以降における新しい北見市の学校教育を推進するための指針として作成しました。

2 計画の期間と構成

当初、北見市学校教育推進計画の期間は、北見市総合計画に準じ、平成21年度から平成30年度までの10年間としていましたが、昨今の学校教育を取り巻く社会的環境や教育情勢に的確かつ柔軟に対応することが必要なことから、平成28年度以降は、おおむね5年間の計画を策定することとしました。

本計画は、平成28年に見直しを行った計画を基に、令和3年度から令和7年度までの5年間の計画として策定しました。

3 北見市教育目標

《前文》

平成18年3月5日制定

すみきった明るい空のもとに住むわたしたちは、先人の教育にかける熱意と、緑の大地に生きるしあわせに感謝しています。

そして、市民一人一人が、個人として尊重され、生涯にわたって潤いと生きがいを持ち、英知を集め協力しあって生活を向上させていくことを願っています。

わたしたちは、豊かな人間性を育み、自ら学び続けることにより、変化の激しいこれからの社会をたくましく生きるためにこの目標を定めます。

《条文》

- たくましい身体と強い意志を持ち、創造的に生きる人
- 豊かな心を育み、自他を尊び自然と共生する人
- 自ら学び、自己充実と郷土文化の発展に尽くす人
- 勤労を尊び、生活向上のための英知を磨く人
- あたたかな家庭・ふれ合いのある地域社会づくりに努める人

4 基本理念

自ら夢や希望の実現に努め、ふるさと北見に誇りをもち、心豊かに、ともに支え合って生きる子どもの育成〔自立と共生〕

自ら夢や希望の実現に努め

基礎・基本を身に付け、意欲をもって楽しく学び続けることを通して、自ら可能性を高め、将来の夢や希望の実現に向けて努力する子どもを育てます。

ふるさと北見に誇りをもち

自分が生まれ育ったふるさと北見のよさを実感するとともに、未来に向かって力を合わせ、新しい社会を切り拓く子どもを育てます。

心豊かに、ともに支え合って生きる

心身の調和のとれた発達を目指し、豊かな人間性を育み、自他を尊び、お互いに支え合ってたくましく生きていく子どもを育てます。

5 基本方針

- 信頼と活力のある学校づくりの推進
- 「生きる力」を育む教育の推進

信頼と活力のある学校づくりの推進

子ども一人一人が、自ら能力を発揮し夢や希望を実現するためには、学校はもとより家庭や地域社会が、それぞれの役割を果たし、連携を深めながら、子どもたちの将来において生きて働く資質・能力を育成することが求められています。

そのためには、組織的、計画的な学校運営に努め、家庭や地域と一体となった教育活動の展開を図るとともに、教職員の指導力を向上させるための研修を充実することが大切です。

「生きる力」を育む教育の推進

先行き不透明で、変化の激しい社会を担う子どもたちが、個性や能力を最大限に発揮しながら、自立した人間としてたくましく生きていくためには、子ども一人一人に「生きる力」を身に付けることが強く求められています。

そのためには、全教育活動を通して、確かな学力や豊かな心、健やかな体など、調和のとれた教育を推進するとともに、社会の進展に伴う多様な課題に対して主体的に対応できる資質・能力を育成することが大切です。

6 全体構造図



7 重点目標及び観点別の実践内容

重点目標 1 信頼に応える学校づくりの推進

【観点1】 地域とともにある学校づくり

<実践内容>

- 1 校長のリーダーシップによる、自主性・自律性のある経営の充実
- 2 学校の教育目標及び年度の重点目標の具現化
- 3 教職員の経営参画意欲を高める組織体制の確立と活性化
- 4 創意ある教育課程を実現する組織マネジメントを生かした評価システムの確立
- 5 学校運営協議会制度(*3)のもとでの地域の教育力を生かした学校づくりの推進
- 6 危機管理への理解・啓発と危機管理体制の充実
- 7 異校種間の連携・接続の充実

【観点2】 資質・能力の向上を目指す研修活動

<実践内容>

- 1 教育目標の具現化を目指す組織的・計画的な校内研修の推進
- 2 学力、体力・運動能力向上に向けた、実践的な指導の充実
- 3 公開研究会や実践交流会の開催など、開かれた研修の推進
- 4 指導力向上推進事業における外部講師の効果的活用
- 5 教育研究団体への参加及び各種研究会・研修講座などへの積極的な参加促進
- 6 研究指定校及び都府県教育実践研修の積極的な活用

【観点3】 へき地・複式教育

<実践内容>

- 1 小規模校・複式学級に対応した教育課程の編成と学習指導の充実
- 2 地域の素材を活用した教育活動の充実
- 3 集団活動や体験を拡充する他校との集合学習・交流学习の推進

【観点4】 確かな学力を育てる学習指導

＜実践内容＞

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、思考力・判断力・表現力などの育成を図る指導計画の改善・充実
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の推進
- 3 学習規律・ノート指導・教室環境整備など、学習する基盤の確立
- 4 振り返り学習や繰り返し学習など、学習の定着を図る学習活動の充実
- 5 個に応じた指導の充実を図る指導方法・指導体制の工夫・改善
- 6 授業改善に生かす評価の改善・充実
- 7 家庭と連携した学習習慣の確立と望ましい生活習慣の定着

【観点5】 探究的な学習を充実する総合的な学習の時間

＜実践内容＞

- 1 学校の実態や地域の特色を踏まえ、自校の目標を明確にした指導計画の改善・充実
- 2 各教科の学びを活用する探究活動や体験活動を取り入れた学習活動の展開
- 3 地域の人材や施設などを活用した学習活動の充実
- 4 育てようとする資質や能力を明確にした評価の工夫・改善

【観点6】 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育

＜実践内容＞

- 1 保護者への適切な情報提供と教育相談・支援の充実
- 2 教育支援委員会、幼保小三者協議会、特別支援教育連携協議会などとの連携強化による切れ目のない一貫した指導や支援
- 3 「個別の指導計画」(*4)や「個別の教育支援計画」(*5)を活用した効果的な指導や支援
- 4 自他の違いや大切さを認め高め合う交流及び共同学習の推進
- 5 特別支援教育支援員等を含む教職員の特別支援教育に関する専門性の向上

【観点7】 豊かな心を育てる道徳教育

＜実践内容＞

- 1 道徳性を養う「考え、議論する道徳」(*6)への質的転換に向けた「道徳科」の指導と評価の工夫・改善
- 2 発達の段階や生活体験など児童生徒の実態に応じた指導計画の改善・充実
- 3 家庭・地域との連携による様々な体験活動を通じた道徳教育の充実
- 4 自他の尊重と相互理解を図る人権・福祉教育の充実

【観点8】 自主的・実践的な態度を育てる特別活動

＜実践内容＞

- 1 特別活動の内容相互の関連や指導内容の重点化を図った全体計画の改善・充実
- 2 人間関係を深め、集団生活への適応力を高める学級活動の充実
- 3 豊かな人間性や社会性を育む自然・社会・奉仕体験活動の充実
- 4 児童生徒の興味・関心を生かした自発的・自治的な活動の充実
- 5 成就感や有用感、所属感を実感できる指導方法や活動形態の工夫・改善
- 6 活動の過程を重視し、意欲を高める評価の工夫・改善

【観点9】 自己指導能力を育てる生徒指導

＜実践内容＞

- 1 基本的生活習慣の確立と自己指導能力の育成を目指した全体計画の改善・充実
- 2 望ましい人間関係の醸成を図り、自己存在感や自己有用感を体感できる学年・学級経営の充実
- 3 カウンセリングマインド(*7)をもち、共感的理解を深める計画的な教育相談体制の充実
- 4 いじめや不登校、問題行動の未然防止と早期発見・早期解消に向けた指導体制の整備
- 5 家庭、地域、関係機関との連携及び学校間連携の強化と情報交流の機会の拡充
- 6 生徒指導・教育相談に必要とされる教職員の資質能力の向上を図る研修の充実
- 7 L G B T等(*8)、性的マイノリティの児童生徒への組織的な支援体制の確立

【観点10】 豊かな感性を育てる読書活動

＜実践内容＞

- 1 読書活動の意図的・計画的な推進による読書習慣の確立と読書指導の充実
- 2 家庭、地域ボランティア、市立図書館などとの連携による読書活動の充実
- 3 学校司書の支援による読書環境の充実及び学校図書館活用の促進

【観点1 1】 健全な心身の保持増進を目指す健康教育

＜実践内容＞

- 1 健康、安全及び体力の増進を目指した全体計画の改善・充実
- 2 健康の保持増進に関する指導や健康相談活動の充実
- 3 児童生徒の体力・運動能力の向上を目指した指導方法の工夫・改善
- 4 生徒の主体性を尊重した部活動の充実
- 5 「新しい生活様式」を踏まえた学校運営及び家庭との連携
- 6 発達の段階に応じた性に関する指導や飲酒、喫煙、薬物乱用などの防止教室の充実
- 7 メンタルヘルス等(*9)の児童生徒の健康に関する問題に対し、組織的に対応する校内体制の充実

【観点1 2】 健全な食生活を目指す食育

＜実践内容＞

- 1 食に関する指導の全体計画の改善・充実
- 2 学級担任と栄養教諭などとの連携による指導体制の充実
- 3 給食の時間や各教科等において、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を育成する指導の工夫・改善
- 4 家庭との連携による「早寝・早起き・朝ごはん」運動の啓発など、基本的な生活習慣を育成する指導の充実

【観点1 3】 自ら命を守る安全教育

＜実践内容＞

- 1 危機回避能力を高める学校安全教育の全体計画の改善・充実
- 2 歩行者・自転車のマナーなど、発達の段階を踏まえた交通安全教育の充実
- 3 事件・事故などの危険予測や回避能力を育成する防犯教育の充実
- 4 災害時に自ら判断し行動できる能力を高める防災教育の充実
- 5 家庭、地域、関係機関などとの連携を図った指導体制の充実

【観点14】 国際理解教育

＜実践内容＞

- 1 ALT(*10)を活用した指導の充実や効果的な指導方法の工夫・改善
- 2 諸外国の生活や文化などの体験・探究活動の充実
- 3 コミュニケーション能力の素地を養う外国語教育の充実
- 4 外国人児童生徒等の受入れ・指導体制の構築

【観点15】 情報教育

＜実践内容＞

- 1 情報及び情報技術を活用した問題解決能力や、自分の考えを的確に表現するための資質・能力を身に付ける学習指導の充実
- 2 家庭との連携による情報モラルなどを身に付ける指導の充実
- 3 教育用コンピュータなどのICT機器(*11)や情報通信ネットワークの設備の充実
- 4 オンライン学習(*12)など、ICTを効果的に活用した学習指導の充実

【観点16】 キャリア教育

＜実践内容＞

- 1 学校の教育活動全体における組織的・系統的なキャリア教育の推進による基礎的・汎用的能力の育成
- 2 望ましい職業観の形成に向けた職場体験学習などの体験活動の充実
- 3 児童生徒の発達段階に応じた「主権者教育」(*13)の推進
- 4 肯定的自己理解と自己有用感を養う指導の充実

【観点17】 環境教育

＜実践内容＞

- 1 環境問題と自らの生活とのかかわりについて理解を深める指導の工夫・改善
- 2 関係団体などとの連携を図り、参加・体験型の学習機会を重視した教育活動の充実
- 3 環境保全に配慮して主体的に行動する意欲や態度を育成する指導の充実

【観点18】 ふるさと教育

＜実践内容＞

- 1 地域資源を活用した学習の充実
- 2 アイヌの人たちの歴史・文化、北方領土に関する教育の充実

*** 1 I o T**

Internet of Things (モノのインターネット) の頭文字をとった言葉で、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

*** 2 S o c i e t y 5.0**

「超スマート社会」の実現に向けて、日本政府が策定した「第5期科学技術基本計画」の中で提唱された言葉である。IoTによりサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を連携し、すべての物や情報、人を一つにつなぐとともに、AI等の最新テクノロジーを活用し、社会システム全体を最適化された社会の実現を目指している。

*** 3 学校運営協議会制度**

新学習指導要領のポイントとなる「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域と学校の連携・協働体制の構築を推進するために制度化された「コミュニティ・スクール」のことである。保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、校長が作成する学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりすることを通して、保護者、地域の意見を学校運営に反映させることが可能となる。

*** 4 個別の指導計画**

児童生徒一人一人の障がいの状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、学校における教育課程や指導計画、当該幼児児童生徒の個別の教育支援計画などを踏まえて、より具体的に児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法を盛り込んだ指導計画。

*** 5 個別の教育支援計画**

障がいのある児童生徒一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下に、医療、保健、福祉、労働などの関係機関との連携を図りつつ、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って、一貫して的確な教育的支援を行うために、障がいのある幼児児童生徒一人一人について策定した支援計画。

*** 6 考え、議論する道徳**

道徳の教科化に伴い、求められる授業スタイルの一つである。常に自己の生き方を見つめながら、多様な視点から話し合い、語り合うことを通して自己のよりよい生き方を考えていくことを重視した道徳の学習。

*** 7 カウンセリングマインド**

カウンセリングとは、心理的問題に直面して、苦しみ、悩み、迷いなどを訴えてきた人に対して、専門的な観点から助言や指導などの支援を行うことである。その際にカウンセラーが持つべき態度をカウンセリングマインドという。相手のペースで話をしてもらい、共感しながらしっかりと聞き、相手の心が軽くなるようにもっていくことが肝心である。「傾聴」、「受容」、「無条件の肯定的関心」などとも言われる。

*** 8 LGBT**

性的少数者の総称。「レズビアン」、「ゲイ」、「バイセクシュアル」、「トランスジェンダー」の頭文字をとって名付けられている。文部科学省は、2017年3月にいじめ防止基本方針を改訂し、学校に対して「性同一性障害や性的指向・性自認について、教職員への正しい理解の促進や、学校として必要な対応について周知する」ことを通じて、性的指向や性自認を理由とする生徒へのいじめを防止するよう定めている。

*** 9 メンタルヘルス**

「心の健康」を意味しており、世界保健機関（WHO）では「自身の可能性を認識し、日常のストレスに対処でき、生産的かつ有益な仕事ができ、さらに自分が所属するコミュニティに貢献できる健康な状態」と定義している。

*** 10 ALT**

Assistant Language Teacher の略で、外国語を母国語とする外国語指導助手をいう。小学校や中学校・高等学校に児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に教育委員会から学校に派遣し、授業の補助を行っている。

*** 11 ICT機器**

「ICT」は、Information and Communication Technology の頭文字をとった言葉で、日本語の意味は「情報通信技術」。一般にパソコン、プロジェクター、デジタルカメラ等の情報機器のことをいう。ICTの活用による教育とは、パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと。

*** 12 オンライン学習**

インターネットを活用し、動画やライブ放送を見ながら学ぶ学習スタイルである。双方向のコミュニケーションや自己のペースで学習することが可能である。

*** 13 主権者教育**

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことにより、主権者教育の推進が議論されるようになった。社会の一員であり、主権者であるという自覚を持たせるとともに、社会で起きている出来事について自ら考え、主体的に行動できる人間を育成するための教育である。